

国絵図改国境村々連判答状控

差上申一札之事

一大和国吉野郡大杉村より紀伊国玉置口村江越道、田戸越、紀伊^{にてハ}越之名唱不申候、

右国境谷川中央限 大和国^{ニ而ハ}葛川谷ト申候、
紀伊国^{ニ而モ}葛川谷ト申候、

一大和国吉野郡田戸村并神山村之枝^(村脱)あんぞ村領と紀伊国玉置口村・大栗須村・小松村領之国境

北山川右川中央国境 紀伊国^{にても}
北山川と申候、

一大和国吉野郡あんぞ村より紀伊国小松村江之越道、小松越 紀伊国^{にて}越之名唱不申候、

右国境山之麓岩あり 大和国^{にてハ}夫婦^(夫婦)岩と申候、
紀伊国^{にても}夫婦岩と申候、

一大和国吉野郡下葛川村・神山村領と紀伊国小松村領之国境たちや川

右川中央国境紀伊国にてもたちや川と申候、
一無難山 紀伊国^{ニ而モ}ふな山と申候、

西者大谷限

北者白倉尾筋水流限

右国境 東ハ白倉峯より松尾峠迄岸水流限

松尾峠より松尾筋水流限

但シ南ハ紀州領、北ハ和州領

一大和国吉野郡佐田村領と紀伊国七色村之領と国境出谷川

右川中央国境 紀伊国^{にても}出谷川と申候、

一大和国吉野郡寺垣内村より紀伊国竹原村江越道、ふとのとし越 紀伊国^{に而モ}
ふとのとし越と申候、

右国境峯通水流限り、但し境目江石塚あり、

一大和国吉野郡田戸村より紀伊国川瀬村江越道、田戸越紀伊国にても田戸越と申候、

右国境 大和国^{にてハ}かと岩と申候、
紀伊国^{にてハ}小峠と申候、

一大和国吉野郡桑原村領と紀伊国神之上村領と国境 小築瀬川
但し三ツ石ノ瀧より川上へ五町之所

右川東岸限国境 川登和州境^{にて}御座候、
紀伊国^{にても}小築瀬川と申候、

一大和国吉野郡河口村領より紀伊国桃崎村江越道、河口越 但し紀伊国^{にても}河口越ト申候、

右国境 小築瀬と申所大谷ノ下平尾限
大和国^{にてハ}平尾と申候、
紀伊国^{にてハ}さいめの尾と申候、

一大和国吉野郡大瀬村より紀伊国寺谷村江越道、不動かね越 紀伊国^{にても}不動かね越と申候、

右国境峯通水流限り 大和国^{にてハ}とさか嶋峠と申候、
紀伊国^{にても}とさか嶋峠と申候、

一大和国吉野郡川合村・大瀬村領と紀伊国桃崎村・大俣村領之国境 備後川

右川中央国境紀伊国^{にても}備後川と申候、

右者今度就御国絵図御改、大和国より紀伊国江移り候道筋之所国境御吟味被成候、六ヶ所之越道壺ヶ所之山境、五ヶ所之川境、右書付之通往古より両国国之境ニ紛無御座候、此外国境之印名有之、木石等無御座候、依之連印証文双方江差上ヶ申候、為後日仍而如件、

元禄十三庚辰年二月 大和国吉野郡

河合村庄屋

儀平太

同 村年寄

義右衛門

大瀬村庄屋

長左衛門

同 村年寄

又左衛門

寺垣内村庄屋

長重郎

同 村年寄

治郎兵衛

浦向村庄屋

忠左衛門

同 村年寄

武右衛門

佐田村庄屋

源兵衛

同 村年寄

長 助

上桑原村庄屋

忠兵衛

同 村年寄

又兵衛

下桑原村庄屋

嘉左衛門

同 村年寄

藤兵衛

下葛川村庄屋

忠左衛門

同 村年寄

源之助

神山村庄屋

喜太夫

同 村年寄

小平太

五ヶ村惣代中村庄屋

助之丞

同田戸村年寄

覚之助

上葛川村庄屋

弥五右衛門

同 村年寄

喜右衛門

紀伊国牟^(妻)楼郡

玉置口村庄屋

伊 助

同 村肝煎

小左衛門

大栗須村庄屋

弥七郎

同 村肝煎

久之助

小松村庄屋

徳太夫

同 村肝煎

庄兵衛

長原村庄屋

勘兵衛

同 村肝煎

平右衛門

三ヶ村惣代七色村庄屋

半左衛門

同 村年寄

源太郎

神上村庄屋

武太夫

同 村肝煎

利左衛門

桃崎村庄屋

八右衛門

同 村肝煎

市兵衛

大俣村庄屋

源 八

同 村肝煎

平右衛門

辻弥五左衛門様御代

中井要右衛門殿

此証文之本紙、上桑原村庄屋惣兵衛所ニ有之候、